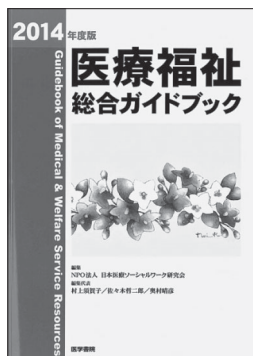


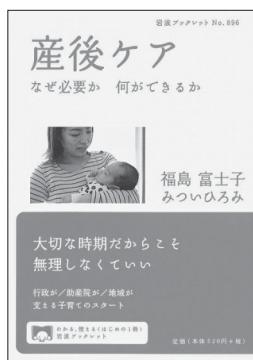
今月の3冊プラス1



医療福祉総合ガイドブック 2014 年度版

編：NPO 法人 日本医療ソーシャルワーク研究会
発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価：本体 3300 円＋税

医療・福祉サービスを利用者の視点で一覧できるガイドブックの最新版。医療・福祉制度の概要が理解できるように解説を見直すとともに、「通知」レベルの最新情報も従来通りフォローしながら大幅刷新。利用者からの相談に素早く、より確実に対応するための保健・医療・福祉関係者必携の1冊。



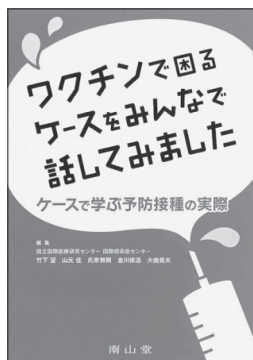
《岩波ブックレット》

産後ケア

なぜ必要か 何ができるか

著：福島富士子、みついひろみ
発行：岩波書店 TEL：03-5210-4000
定価：本体 520 円＋税

慣れない育児をスタートさせる新米のお母さんたちは、不安を抱えがちであり、公的な「差し伸べられる手」が必要とされている。どのような支援が望まれ、自治体や病院・助産院、保健師、看護師、地域の“先輩”たちは、どのように応えていけばよいのだろうか。支える側・支えられる側双方の立場で考える。

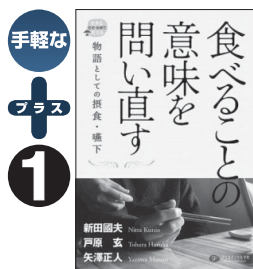


ワクチンで困るケースをみんなで話してみました

ケースで学ぶ予防接種の実例

編：竹下望、山元佳、氏家無限、金川修造、大曲貴夫
発行：南山堂 TEL：03-5689-7851
定価：本体 3500 円＋税

実際の予防接種を担う臨床家の立場からワクチンについて考えた本。日常診療でありがちな「どうしたらよいのだろう」というケースに対し、どのように問題をとらえ対応していけばよいのか、その考え方のプロセスを複数の医師の視点で示す。予防接種の現状と今後のあり方が理解できる興味深い1冊。



食べることを意味を問い直す

物語としての摂食・嚥下

編著：新田國夫、戸原玄、矢澤正人
発行：クリエイツかもがわ TEL：075-661-5741
定価：本体 2200 円＋税

最期まで「口から食べる」ための在宅支援と地域づくりの物語。訪問の看護師・歯科衛生士・栄養士などが取り組む「摂食・嚥下ネットワーク」の事例紹介や、座談会「摂食・嚥下のあゆみとこれから」などを収載。「食べること」を通じた多職種連携の地域づくりをめざす専門職に最適な書である。